

交通事業の経営にあたっての緊急対応方針

～コロナ危機を乗り切るために～

2020年7月 札幌市交通事業管理者

新型コロナウイルス感染症は、札幌市営交通の開業以来かつてないほどの深刻な影響を及ぼしています。乗車人員への影響は甚大であり、かつ、収束には長期を要すると見込まれ、交通事業を継続していく上での資金繰りは危機的な状況にあります。そのような中であっても、必要な感染症対策や「新しい生活様式」への対応を的確に行い、お客様への約束である安全で安心な運行を続けていかなければなりません。加えて、交通事業経営計画に掲げる老朽施設の改修をはじめとした喫緊の課題にも、しっかり対応していく必要があります。

つきましては、現下の極めて厳しい経営環境を乗り切るための対応方針を以下のとおり示しますので、交通局職員全員が危機感を共有し、職員一人ひとりが主体的に事に当たるようお願いいたします。

1 ウィズ・コロナの社会に適応すること

- (1) 必要な感染症対策はもとより、「新しい生活様式」に適切に対応することにより、お客様が安心してご利用していただける環境を整えてください。
- (2) 交通事業は、お客様のみならず、(一財)札幌市交通事業振興公社や関係する事業者の皆様のおかげにより成り立っています。そこで、関係者が一体となって交通事業を継続できるよう努めてください。

2 事業の再検証を行うこと

在宅勤務の広がり、移動抑制等が定着し、乗車人員は現経営計画の想定を大幅に下回ることが見込まれます。事業の実施にあたっては、計画事業においても必要な軌道修正を行わなければなりません。

そこで、令和2年度予算に計上済みの事業を含め、既定の計画事業について、改めて規模縮小の余地がないか再検証するとともに、かかる事業費を極力圧縮するよう、工法等の見直し、実施時期の見直し及び平準化を検討してください。

3 安定経営に向け耐久力を強めること

(1) 事業を安定的に継続していくためには、附帯収入を確保するなど、財務上の耐久力を強めなければなりません。

既存の資産を有効活用した新たなニーズに応える取り組みを、より一層進めることも検討してください。

(2) 資金手当債の発行や補助金制度の活用など、事業継続に必要な運転資金の確保に引き続き努めてください。